

葉脈標本で「しおり」を作ろう

熊本博物館 山口



ヒイラギ（左）やヒイラギモクセイ（右）の葉脈標本（ようみやくひょうほん）を作ります。それをラミネート加工するだけで、とてもすてきな「しおり」ができますよ！！

【作り方】

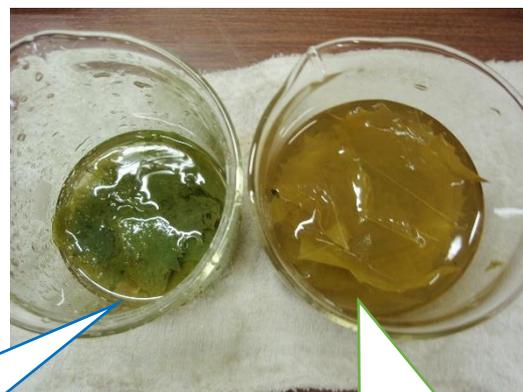


※「危険な薬品」を使うので、おうちの人や先生にお願いしましょう。

①およそ 10%の水酸化ナトリウム水溶液（すいさんかナトリウムすいようえき）300mL に、ヒイラギやヒイラギモクセイの葉（写真では 40 枚ほど）を入れ、20 分くらい加熱！

水酸化ナトリウムのかわりに、重曹（じゅうそう：炭酸水素ナトリウム）を使った方法もあります。インターネットや本で、調べてみましょう。

②十分に冷やしたあと、水溶液は決められた容器にうつして保管・中和（ほかん・ちゅうわ）する。ビーカーに残った葉は、大量の水をそそぎながら葉肉（ようにく）部分を洗い流し、酢（す）を加える（弱酸性：じゃくさんせい）。



（左） まだ、葉肉が残っているヒイラギ

（右） 葉肉を洗い流し、酢を加えたヒイラギモクセイ

③弱酸性になったヒイラギやヒイラギモクセイの葉をプラスチック板の上ののせ、水をふくませた歯ブラシで、**かるくトントンとたたき**ながら葉脈の周りに残っている葉肉をていねいに取りのぞいていく。ときどき、葉を水槽（すいそう）の中で洗い、葉脈だけを残す！



※トントンとリズムカルに歯ブラシで**かるくたた**く！ぜったいに「**みがいたりこすったり**」するのはNG！葉脈がちぎれます！！



④きれいな葉脈だけになったら、キッチンペーパーなどで水気（みずけ）を取る。さらに短時間、風乾（ふうかん）させた後でラミネート加工する。ひもやリボンを付けると、「葉脈しおり」の完成！

水気を十分 取らないうちにラミネート加工すると、中が「**くもった感じ**」になってしまいます。**注意**しましょうね！！

